

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年1月22日

協議会名: 郡上市地域公共交通会議

評価対象事業名: 生活交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持計画)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【補助対象となる事業者 名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行 (航)区間、整備内容等を記載(陸 上交通に係る確保維持事業にお いて、車両減価償却費等及び公有 民営方式車両購入費に係る国庫 補助金の交付を受けている場合、 離島航路に係る確保維持事業に おいて離島航路構造改革補助(調 査検討の経費を除く。)を受けてい る場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間におい て、前回の事業評価結果をどのよ うに生活交通確保維持改善計画に 反映させた上で事業を実施したか を記載】	A ・ B ・ C 評 価	【計画に基づく事業が適切に 実施されたかを記載。計画ど おり実施されなかった場合に は、理由等記載】	A ・ B ・ C 評 価	【計画に位置付けられた定量的な 目標・効果が達成されたかを、目 標ごとに記載。目標・効果が達成で きなかった場合には、理由等を分 析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な 目標を記載。改善策は、事業者の取り 組みだけでなく、地域の取り組みにつ いて広く記載。特に、評価結果を生 活交通確保維持改善計画にどのように反 映させるか(方向性又は具体的な内 容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場 合はその旨記載
郡上市	美並北ルート さつき苑～深戸～さつき苑	公共施設や病院をはじめ、長 良川鉄道の駅と接続すること で、日常生活における最低限 の移動手段を確保した。 利用者は減少傾向にあるた め、高齢者等のニーズ調査の 実施、把握・分析のうえ、地元 地域とも協議を重ねながら、実 情に合った運行ルート、ダイヤ 等の見直しに向けて取り組みを 実施した。	A	計画通り事業は適切に実 施された。	B	【目標値】利用者730人以上 【実績値】利用者608人 【運行回数】372回 目標値を122人下回り、目標達 成には至らなかったが、本路線 は、通院や買い物の利用が大 半を占める生活路線であること から、今般のコロナ禍にありな がらも昨年度(653人)並みの水 準を維持できた。	利便性の向上、効率的な運用を図 るため、利用者アンケートや地域団 体等との協議を重ねてきており、新 たな運行ルートやダイヤ編成に向 けて引き続き協議を実施する。 高齢者など地域の方に多く利用い ただくため周知をはじめ、乗り方な どの講習会の開催など積極的な促 進にも取り組む。
郡上市	美並南ルート さつき苑～西母野～さつき苑		A	計画通り事業は適切に実 施された。	B	【目標値】利用者970人以上 【実績値】利用者887人 【運行回数】384回 目標値を83人下回り、目標達 成には至らなかったが、本路線 は、通院や買い物の利用が大 半を占める生活路線であること から、今般のコロナ禍にありな がらも昨年度(889人)と同等の 水準を維持できた。	また、運行見直し後も、利用者や地 元地域と引き続き意見交換を行い ながら、更なる利用促進や改善に つなげていく。 ※運行の効率化と利便性を高める ため、スクールバスの空き時間等 も活用した新たな運行を令和3年1 月より開始した。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
郡上市	美並八幡線 さつき苑～郡上市民病院前	美並地域から市中心部の総合 病院、市街地等に接続すること で、日常生活における最低限 の移動手段を確保した。 利用者は減少傾向にあるた め、高齢者等のニーズ調査の 実施、把握・分析のうえ、地元 地域とも協議を重ねながら、実 情に合った運行ルート、ダイヤ 等の見直しに向けて取り組みを 実施した。	A	計画通り事業は適切に実 施された。	B 【目標値】利用者360人以上 【実績値】利用者224人 【運行回数】96回 目標値を136人下回り、目標達 成には至らなかった。 利用者は減少傾向にはある が、令和元・2年度は新型コロ ナウイルス感染症拡大の影響 により、特に4月～7月の4か月 間は前年の104人から45人に 減少したことが影響を及ぼし た。	高齢化等によりバスでの通院、買 い物利用が徐々に減少している。 今後は利用状況を把握・分析し、 利用者のニーズに合う運行形態に ついて地域と協議し、実情に合った 運行形態への見直しを図る。 ※運行の効率化と利便性を高めるた め、当路線を廃止し、新たに4条路線 (事業者) による予約型の乗合タク シーに一本化した。令和3年1月より運 行開始。
(有)八幡観光バス	和良線 祖師野上～郡上八幡駅前～郡 上市民病院前 (公有民営車両補助)	高校生の利用促進のため、実 態に合わせたきめ細かなダイ ヤ調整と、高校通学費用の負 担軽減制度及び鉄道・バス連 絡共通定期券の積極的な周知 を行った。 また、令和2年7月には、ヤマト 運輸(株)との貨客混載事業も開 始し運行の効率化等も進めて いる。	A	計画通り事業は適切に実 施された。	B 【目標値】利用者5,000人以上 (※和良線全体21,000人) 【実績値】利用者3,835人 (※和良線全体19,250人) 【運行回数】606.0回 目標値を1,165人下回り、目標 達成には至らなかった。 令和元・2年度は新型コロナウ イルス感染症拡大の影響によ る学校休校で、3月～5月の通 学定期利用が減ったことで利用 者も減少した。	学生の通学における重要な足とし て、きめ細やかなダイヤ調整等 に対応しながら、引き続き運行を行 っていく。 教育委員会と連携し、高校入学説 明会等において、通学費助成制度 や鉄道・バス連絡共通定期券の周 知活動を行い、公共交通の積極的 な活用、促進に向けた活動を続け る。 また、児童・生徒数の減少により、 今後はバス利用の対象となる生徒 数が減少してくるため、小中学生の 混乗化等の検討も行っていく。 なお、今年度はコロナ禍により実施 できなかったが、高齢者等を対象 にバスの乗り方教室等も開催し、 利用者の増加を図る。
(有)八幡観光バス	和良線 方須下～郡上八幡駅前～郡上 市民病院前 (公有民営車両補助)		A	計画通り事業は適切に実 施された。	B 【目標値】利用者16,000人以上 (※和良線全体21,000人) 【実績値】利用者15,415人 (※和良線全体19,250人) 【運行回数】1,322回 目標値を585人下回り、目標達 成には至らなかった。 令和元・2年度は新型コロナウ イルス感染症拡大の影響によ る学校休校で、3月～5月の通 学定期利用が減ったことで利用 者も減少した。	

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
(有)八幡観光バス	明宝線 郡上明山～城下町プラザ～郡 上八幡駅前 (公有民営車両補助)	高校生の利用促進のため、実 態に合わせたきめ細かなダイ ヤ調整と、高校通学費用の負 担軽減制度及び鉄道・バス連 絡共通定期券の積極的な周知 を行う。	A	計画通り事業は適切に実 施された。	A	【目標値】利用者250人以上 (※明宝線全体19,400人) 【実績値】利用者674人 (※明宝線全体13,734人) 【運行回数】120回 目標値を424人上回り、目標を 達成できた。 令和元・2年度は新型コロナウ イルス感染症拡大の影響によ り学校休校等があったが、当該 年度は生徒数が多かったこと から本路線は利用者の増加に つながった。 一方、全体目標値と比較する と、5,666人下回る結果となっ た。	学生の通学における重要な足とし て、きめ細やかなダイヤ調整等 に対応しながら、引き続き運行を行 っていく。 市が実施する通学費助成制度によ り定期券利用も高まってきているた め、引き続き、教育委員会と連携 し、高校入学説明会等において、 通学費助成制度や鉄道・バス連絡 共通定期券の周知活動を行い、公 共交通の積極的な活用、促進に向 けた活動を続ける。 また、児童・生徒数の減少により、 今後はバス利用の対象となる生徒 数が減少してくるため、小中学生の 混乗化等の検討も行っていく。 なお、今年度はコロナ禍により実施 できなかったが、高齢者等を対象 にバスの乗り方教室等も開催し、 利用者の増加を図る。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和3年1月22日

協議会名：	郡上市地域公共交通会議
評価対象事業名：	生活交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持計画)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	これからの地域公共交通は、利用者、交通事業者、行政がそれぞれの役割に応じて、協力しあいながら確保・維持・改善を図って行くことが基本となります。 地域の特性や利用実態に対応した輸送体制の確立に向けて、住民の理解と協力、参画を得ながら、限られた資源、財源を最大限活用する中で、高い効果が得られる公共交通サービスの展開を目指します。